

ご使用上の注意

いつも弊社製品をご使用いただきまして誠にありがとうございます。
製品を安全に正しくご使用していただくため、下記の注意事項をお守りのうえ使用して下さい。

● 光測定器の光入出力部を保護するために

光入出力部が光フェルールタイプの製品は、汚れや粉塵が着いた状態で使用するとフェルール端面を傷つけ、故障の原因となることがあります。

また、フェルール端面に粉塵が着いた状態で高出力光を受けると、ファイバヒューズ現象でケーブル全体を焼損する原因にもなります。

ご使用になる前は、必ず光ファイバの端面を清掃してから測定をおこなって下さい。

清掃方法は、弊社ホームページ <http://www.graytechnos.com/> の参考資料「光入出力部の清掃方法 01 (pdf)」に沿って清掃すると、安全に光ファイバの端面を清掃することができます。

光入出力部に中継の光ファイバコードを使用することで、汚れや傷から保護することもできます。

【該当する製品】

製品名	モデル
光パワーメータ	217HA、219、260
光源	361、362、363、364、385H、380H-6、392H、393H、395H、310-131LD、310-155LD
光トークセット	450XL、450、430
光可変アッテネータ	781ZA、780ZA
クランプカブラ	550

● 清掃例

① 乾式清掃

コネクタアダプタを装着した状態で、市販のスティック型清掃用具 (クレトップスティック、OPTIPOP S 等) を使用して光フェルール端面をやさしく清掃して下さい。

※ 当清掃方法は光フェルールタイプの製品のみ対応となります。
光センサタイプの製品では、当清掃方法で清掃をおこなわないで下さい。
光センサのガラスが割れ故障の原因となることがあります。

② 湿式清掃

コネクタアダプタを取り外し、光フェルールを直接アルコール (エタノールまたはイソプロパノール) で清掃します。

綿棒またはキムワイプなどにアルコールを浸し、光フェルール端面をやさしく拭き取って下さい。光フェルールの端面にエアークンでやさしく風をあててアルコールを蒸発させれば、綺麗に清掃ができます。

《清掃前》



《清掃後》

